

救 急



令和3年救急一目統計

(令和3年中)

<p>人口1万人当たりの出動件数 488件 (令和2年 473件)</p> <p>市民22人に1人が救急車で 搬送されている。</p>	<p>松山市には (令和3年12月31日現在) 高規格救急車 14台 非常用救急車 3台 救急隊員 103人 救急救命士87人(現場活動者73人) 救急医療機関 15医療機関</p>	<p>前年との比較 令和3年出動件数 24,632件 令和2年出動件数 23,969件</p>
<p>21分20秒に1回の割合で 救急車が出動している。</p>	<p>出動件数</p>	<p>出動件数 急病 14,937件 60.6%</p>
<p>救急出動の多い月は 12月</p> <p>救急出動の多い曜日は 月曜日</p> <p>救急出動の多い時間帯は 10時から12時</p> <p>救急出動の多い事故は 急病</p> <p>交通事故最多出動月は 11月</p>	<p>搬送件数 24,632件</p> <p>搬送人員 22,620件</p> <p>搬送人員 22,772人</p> <p>一日当たりの平均出動件数 67.5件 (令和2年 65.5件)</p> <p>一日当たりの平均搬送人員 62.4人 (令和2年 60.3人)</p> <p>一日当たりの最多出動件数 100件 (令和2年 101件)</p> <p>一日当たりの最少出動件数 36件 (令和2年 40件)</p>	<p>交通事故 1,881件 7.6%</p> <p>一般負傷 3,579件 14.5%</p> <p>転院搬送 3,121件 12.7%</p> <p>自損行為 208件 0.8%</p> <p>労働災害 160件 0.6%</p> <p>加害 86件 0.3%</p> <p>火災 122件 0.5%</p> <p>運動競技 156件 0.6%</p> <p>水難事故 22件 0.1%</p> <p>自然災害 1件 0.0%</p>
<p>松山市の人口 504,813人 (令和3年12月31日推計)</p>	<p>一日当たりの最少出動件数 36件 (令和2年 40件)</p>	<p>その他 359件 1.5%</p>

救急の状況

令和3年中の救急出動件数は24,632件、搬送人員は22,772人で、前年と比較し出動件数、搬送人員ともに増加しています。

これは、1日平均67.5件、21分20秒に1回の割合で救急車が出動し、市民22人に1人の割合で搬送されたこととなります。

救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・転院搬送・交通事故の順となっており、この4種別だけで出動件数全体の95.4%、搬送人員は全体の97.4%を占めています。

(▲は減少)

区分	単位	令和3年 A	構成比 (%)	令和2年 B	構成比 (%)	増減 (A-B) C	増減率 (C/B×100) (%)
出動件数	件	24,632	100.0	23,969	100.0	663	2.8
内 訳	火災	122	0.5	97	0.4	25	25.8
	自然	1	0.0	0	0.0	1	0.0
	水難	22	0.1	21	0.1	1	4.8
	交通	1,881	7.6	1,960	8.2	▲79	▲4.0
	労災	160	0.6	179	0.7	▲19	▲10.6
	運動	156	0.6	113	0.5	43	38.1
	一般	3,579	14.5	3,586	15.0	▲7	▲0.2
	加害	86	0.3	93	0.4	▲7	▲7.5
	自損	208	0.8	235	1.0	▲27	▲11.5
	急病	14,937	60.6	14,471	60.4	466	3.2
	転院	3,121	12.7	2,823	11.8	298	10.6
その他	359	1.5	391	1.6	▲32	▲8.2	
搬送件数	件	22,620	-	21,950	-	670	3.1
搬送人員	人	22,772	100.0	22,080	100.0	692	3.1
内 訳	火災	39	0.2	30	0.1	9	30.0
	自然	1	0.0	0	0.0	1	0.0
	水難	8	0.0	10	0.0	▲2	▲20.0
	交通	1,790	7.9	1,898	8.6	▲108	▲5.7
	労災	159	0.7	174	0.8	▲15	▲8.6
	運動	160	0.7	119	0.5	41	34.5
	一般	3,396	14.9	3,394	15.4	2	0.1
	加害	80	0.4	77	0.3	3	3.9
	自損	147	0.6	175	0.8	▲28	▲16.0
	急病	13,885	61.0	13,393	60.7	492	3.7
	転院	3,106	13.6	2,810	12.7	296	10.5
その他	1	0.0	0	0.0	1	0.0	

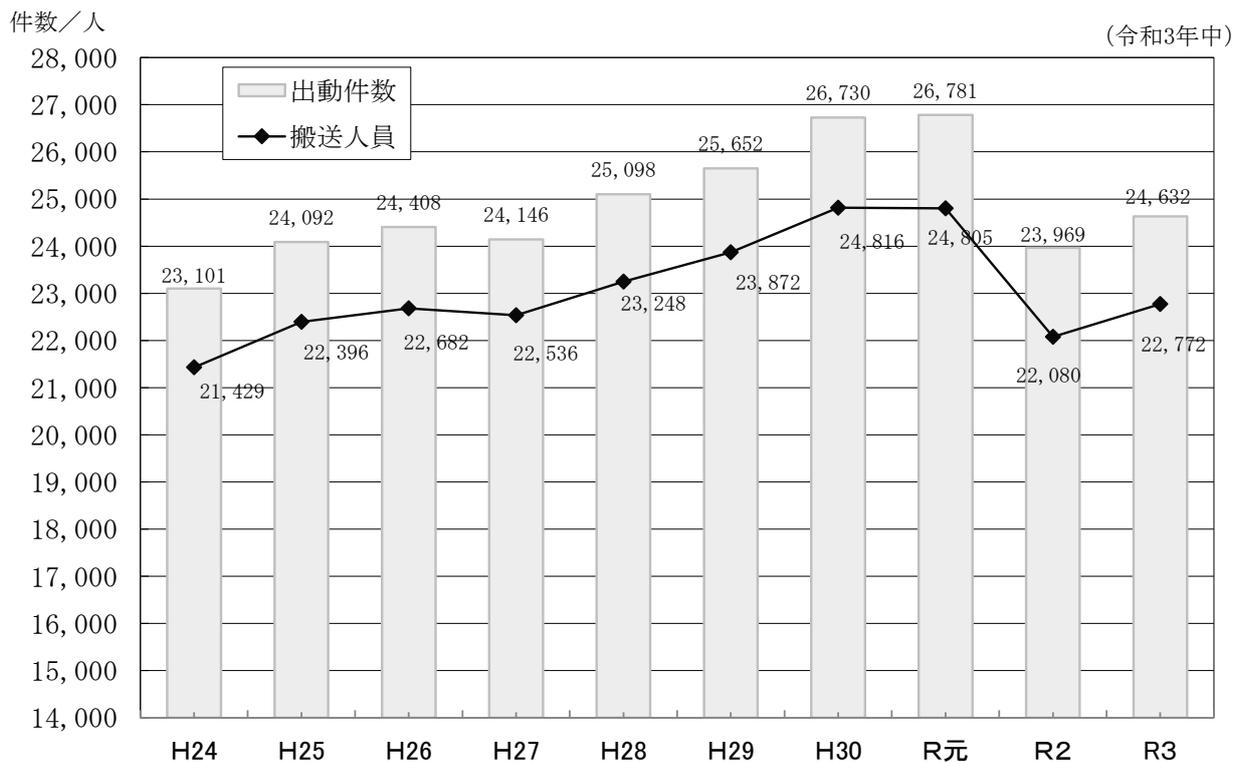
出動平均(1日) ^{※1}	件	67.5	65.5
出動間隔 ^{※2}		21分20秒	21分59秒

※1 出動平均については、前年比1日あたり2件増加しています。

※2 出動間隔については、前年比39秒短くなってまいいます。

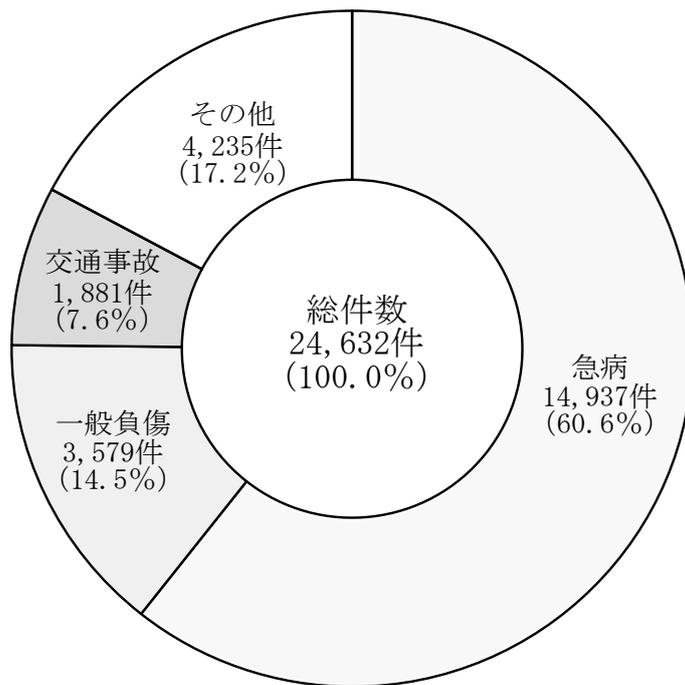
出動件数・搬送人員の推移

令和3年は出動件数、搬送人員ともに増加しています。



事故種別出動状況

(令和3年中)



月別救急の状況

出動件数、搬送人員ともに12月が一番多くなっています。

(令和3年中)

月別	出動件数	出動件数内訳												搬送人員
		火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
1	2,121	17	0	2	127	6	8	309	8	22	1,290	287	45	1,932
2	1,813	8	0	0	121	11	7	279	6	8	1,108	232	33	1,675
3	2,007	9	0	1	169	20	11	277	8	18	1,165	291	38	1,826
4	1,790	17	0	0	149	17	13	244	7	13	1,059	243	28	1,671
5	1,892	7	0	5	131	18	12	286	5	25	1,137	229	37	1,761
6	2,014	5	0	2	160	10	26	265	10	17	1,249	255	15	1,874
7	2,233	10	0	1	180	9	21	306	6	18	1,370	284	28	2,072
8	2,147	7	1	2	160	19	11	277	2	18	1,367	252	31	1,980
9	1,973	5	0	2	145	7	14	293	6	21	1,229	227	24	1,848
10	2,157	14	0	2	175	10	8	334	13	17	1,293	262	29	1,990
11	2,232	11	0	2	186	20	14	347	3	14	1,326	280	29	2,069
12	2,253	12	0	3	178	13	11	362	12	17	1,344	279	22	2,074
計	24,632	122	1	22	1,881	160	156	3,579	86	208	14,937	3,121	359	22,772

曜日別救急の状況

月曜日（1日平均 74.3件）が最も多く出動しています。

(令和3年中)

区分	月	火	水	木	金	土	日	合計
出動件数	3,866	3,417	3,386	3,408	3,546	3,509	3,500	24,632
一日平均出動件数	74.3	65.7	65.1	65.5	68.2	67.5	67.3	67.5

署所別出動件数の状況

松山市の救急車は、高規格救急車14台です。

(令和3年中)

署所 種別	中央署 *1				東 署				南 署			西 署 *2			消防局 非常用	合計
	本署	城北	北条1	北条2	本署	城東1	城東2	湯山	本署	東部	久谷	本署1	西部	本署2		
火災	12	10	7	0	8	16	11	7	18	7	3	8	10	5	0	122
自然	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
水難	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	9	0	22
交通	242	123	54	14	151	317	196	53	180	118	51	108	224	9	41	1,881
労災	22	14	5	2	12	16	9	5	15	13	9	15	16	2	5	160
運動	16	6	8	2	14	12	16	3	10	4	10	7	41	0	7	156
一般	453	261	157	32	343	480	298	112	288	245	120	301	373	67	49	3,579
加害	10	2	1	0	4	24	13	3	8	2	2	6	8	1	2	86
自損	24	11	3	0	18	40	21	9	29	9	7	10	21	3	3	208
急病	1,891	1,043	583	97	1,271	2,201	1,478	441	1,359	1,015	417	1,198	1,505	160	278	14,937
転院	268	132	118	21	438	458	386	89	432	254	43	159	186	50	87	3,121
その他	31	12	3	0	29	61	180	5	7	3	2	8	12	3	3	359
合計	2,970	1,616	940	168	2,288	3,625	2,608	728	2,347	1,671	664	1,827	2,396	309	475	24,632

*1 消防隊兼務

*2 島しょ部対応、消防救急艇兼務

年齢別・性別搬送人員の状況

年齢別・性別で搬送人員をみると、高齢者が13,905人で全体の61.1%を占め、性別でみると女性が男性を上回っています。

(前年対比)

区 分	令和3年			令和2年		
	男	女	合計	男	女	合計
新生児	20	19	39	18	21	39
乳幼児	470	306	776	424	259	683
少年	364	300	664	360	234	594
成人	3,741	3,647	7,388	3,774	3,380	7,154
高齢者	6,507	7,398	13,905	6,214	7,396	13,610
合計	11,102	11,670	22,772	10,790	11,290	22,080

(年齢区分)

新生児 生後28日未満の者
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 少年 満7歳以上満18歳未満の者
 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者 満65歳以上の者

年齢別・傷病程度別搬送人員の状況

(令和3年中)

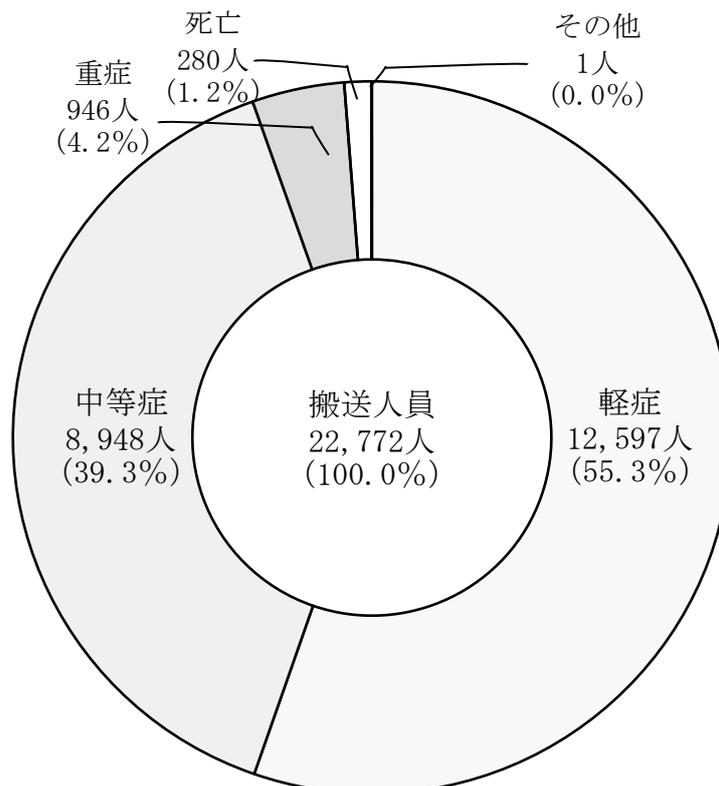
区分 傷病程度	合 計	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者
死 亡	280	0	0	4	45	231
重 症	946	1	2	12	221	710
中等症	8,948	34	139	85	2,067	6,623
軽 症	12,597	4	635	563	5,054	6,341
その他	1	0	0	0	1	0
合 計	22,772	39	776	664	7,388	13,905

(傷病程度)

- 死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの。
- 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
- その他 医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの。

傷病程度別搬送人員の状況

(令和3年中)



事故種別・年齢別搬送人員の状況

(令和3年中)

種別 年齢	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
新生児	39	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	34
乳幼児	776	0	0	0	26	0	0	218	1	0	478	53
少年	664	2	0	1	161	1	77	78	2	10	300	32
成人	7,388	15	0	4	1,079	123	80	591	66	114	4,312	1,004
高齢者	13,905	22	1	3	524	35	3	2,507	11	23	8,792	1,984
合計	22,772	39	1	8	1,790	159	160	3,396	80	147	13,885	3,107

事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡280人（1.2%）、重症946人（4.2%）、中等症8,948人（39.3%）、軽症12,597人（55.3%）、その他1人となっており、軽症の占める割合が多くなっています。

(令和3年中)

種別 傷病程度	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
死亡	280	0	0	1	9	0	0	27	0	15	223	5
重症	946	5	0	0	37	5	0	99	1	15	545	239
中等症	8,948	4	0	1	208	56	32	1,048	5	31	4,746	2,817
軽症	12,597	30	1	6	1,536	98	128	2,222	74	86	8,370	46
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	22,772	39	1	8	1,790	159	160	3,396	80	147	13,885	3,107

(傷病程度)

- 死亡 初診時において、死亡が確認されたもの。
- 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
- その他 医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの。

事故種別・医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関20,663人(90.7%)、その他の医療機関2,109人(9.3%)となっており、救急医療機関への搬送が過半数を占めています。

(令和3年中)

事故種別等		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	
告示の別等開設者別							
救急医療機関※ ₁	国立	498	87	163	232	980	
	公立	595	6	43	668	1,312	
	公的	3,914	423	841	1,295	6,473	
	私的	病院	7,546	1,135	2,103	863	11,647
		診療所	144	48	50	9	251
	計	12,697	1,699	3,200	3,067	20,663	
その他の医療機関	国立	71	2	2	4	79	
	公立	515	42	65	566	1,188	
	公的	0	0	0	0	0	
	私的	病院	412	17	83	53	565
		診療所	190	30	46	11	277
	計	1,188	91	196	634	2,109	
計	国立	569	89	165	236	1,059	
	公立	1,110	48	108	1,234	2,500	
	公的	3,914	423	841	1,295	6,473	
	私的	病院	7,958	1,152	2,186	916	12,212
		診療所	334	78	96	20	528
	計	13,885	1,790	3,396	3,701	22,772	
場所※ ₂ の	接骨院等	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	
合計		13,885	1,790	3,396	3,701	22,772	

※₁ 救急医療機関とは、厚生省令により救急告示を受けている医療機関。

※₂ その他の場所とは、医療機関以外の場所(例：医療機関に収容する目的で空港等に搬送)。

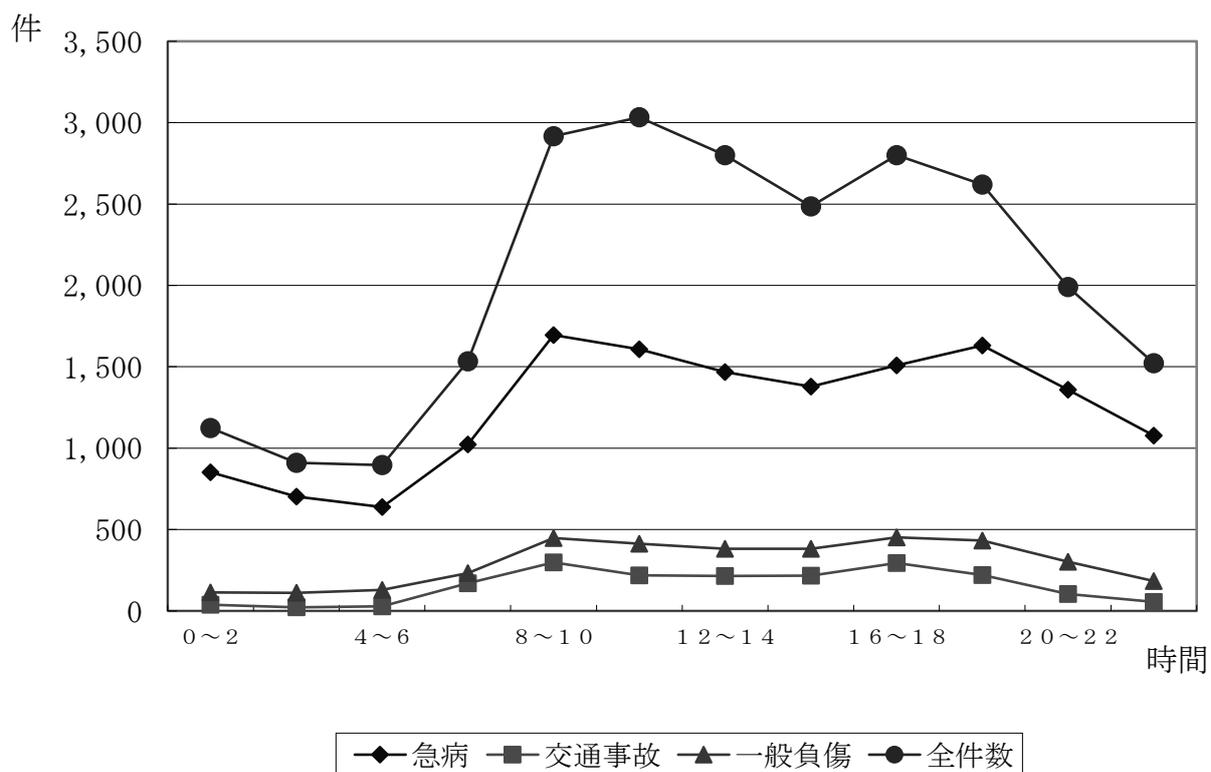
時間帯別出動件数の状況

出動件数が多い時間帯は、10時から12時が3,033件（12.3%）、8時から10時が2,917件（11.8%）となっています。

（令和3年中）

時間	種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	0時～2時		852	38	114	119
2時～4時		702	22	111	75	910
4時～6時		638	29	129	100	896
6時～8時		1,022	170	233	109	1,534
8時～10時		1,695	298	447	477	2,917
10時～12時		1,607	218	412	796	3,033
12時～14時		1,468	215	381	737	2,801
14時～16時		1,378	217	382	509	2,486
16時～18時		1,509	294	452	545	2,800
18時～20時		1,630	221	432	337	2,620
20時～22時		1,359	104	303	224	1,990
22時～24時		1,077	55	183	207	1,522
合計		14,937	1,881	3,579	4,235	24,632

（令和3年中）



現場到着所要時間の状況

救急自動車の現場到着時間は、10分未満が18,164件（73.7%）となっており、現場到着時間の平均は8分58秒となっています。

（令和3年中）

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分 以上	合 計	平均所要 時間
急 病	92	711	10,080	3,796	258	14,937	9分4秒
交通事故	11	119	1,265	450	36	1,881	8分53秒
一般負傷	21	152	2,337	983	86	3,579	9分23秒
その他	244	483	2,649	717	142	4,235	8分16秒
合 計	368	1,465	16,331	5,946	522	24,632	8分58秒
構成比 (%)	1.5	5.9	66.3	24.1	2.1	100.0	—
令和2年 (%)	1.7	8.8	70.0	17.9	1.6	100.0	8分16秒

収容所要時間の状況

傷病者の病院収容時間は、30分未満が8,021件（35.2%）となっており、病院収容時間の平均は36分46秒となっています。

（令和3年中）

収容所要	10分 未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	合 計	平均収容 時間
急 病	2	252	4,127	8,679	802	23	13,885	37分17秒
交通事故	0	28	484	1,162	115	1	1,790	40分01秒
一般負傷	0	42	814	2,296	238	6	3,396	39分14秒
その他	4	583	1,685	1,271	141	17	3,701	30分57秒
合 計	6	905	7,110	13,408	1,296	47	22,772	36分46秒
構成比 (%)	0.0	4.0	31.2	58.9	5.7	0.2	100.0	—
令和2年 (%)	0.0	6.5	40.3	49.7	3.4	0.1	100.0	33分25秒

応急処置実施状況

救急救命士等が行える救命処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、エピペン投与、ブドウ糖投与）の件数は、381件（前年478件）となっています。

（令和3年中）

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	応急処置対象人員	13,873	1,787	3,388	3,640	22,688
	止血	46	57	228	40	371
	固定	48	274	321	95	738
	人工呼吸	35	1	9	7	52
	胸骨圧迫	27	0	11	4	42
Ⅱ	うち自動	10	0	5	2	17
	心肺蘇生	392	9	44	31	476
Ⅱ	うち自動	39	1	5	3	48
	酸素吸入	2,359	32	142	943	3,476
	気道確保	565	13	62	52	692
Ⅱ	うち経鼻エアウェイ	5	0	2	0	7
Ⅱ	うち喉頭鏡・鉗子等	5	0	4	1	10
救	うちラリングアルマスク等	107	3	2	2	114
救	うち気管挿管	5	0	3	0	8
	保温	408	40	94	125	667
	被覆	90	533	881	144	1,648
Ⅱ	在宅医療継続	80	0	10	3	93
Ⅱ	ショックパンツ	0	0	0	0	0
Ⅱ	除細動	35	0	1	0	36
救	静脈路確保	92	1	8	5	106
	うち心肺停止前	25	0	1	0	26
	うち心肺停止後	67	1	7	5	80
救	薬剤投与	5	0	2	0	7
救	血糖測定	92	1	0	0	93
救	エピペン投与	0	0	0	0	0
救	ブドウ糖投与	17	0	0	0	17
Ⅱ	血圧測定	13,065	1,747	3,170	3,427	21,409
Ⅱ	聴診器	1,662	64	175	173	2,074
Ⅱ	血中酸素飽和度の測定	13,443	1,766	3,278	3,559	22,046
Ⅱ	心電図	3,543	41	148	557	4,289
	その他	12,901	1,665	3,175	3,297	21,038
合計		48,905	6,244	11,759	12,462	79,370
拡大された応急処置等 (うち救命処置)		32,205 353	3,624 5	6,813 16	7,732 7	50,374 381

「Ⅱ」とは、救急Ⅱ課程修了者、標準課程修了者、救急科修了者が実施可能な処置

「救」とは、救急救命士が医師の指示で実施可能な救命処置

拡大された応急処置等

応急処置の分類

① 止血	直接圧迫、止血帯、包帯等による止血処置。
② 固定	副子等による固定又は安静保持。
③ 人工呼吸	口対口人工呼吸、又は器具等を使用した人工呼吸。
④ 胸骨圧迫	胸骨圧迫のみの処置。
⑤ 心肺蘇生	胸骨圧迫と人工呼吸を行った処置。
⑥ 酸素吸入	酸素吸入器による酸素吸入。
⑦ 気道確保	気道確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置。 〔経鼻エアウェイによる気道確保、 喉頭鏡・鉗子等を使用した異物除去、 ラリングアルマスク等を使用した気道確保、 気管挿管処置については、内数として記載。〕
⑧ 保温	傷病者の状態から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置。
⑨ 被覆	創傷をガーゼ等で被覆する創面保護。
⑩ 在宅医療継続	在宅医療処置継続、在宅療法継続中の傷病者に対し、その療法維持のために行った必要な処置（安静・確保等に留意し観察等を行ったことを含む。）、及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置。
⑪ ショックパンツ	ショックパンツを使用した血圧の保持。骨折肢を固定する処置を含む。
⑫ 除細動	自動体外式除細動器（AEDを含む。）による除細動。
⑬ 静脈路確保	救急救命士法に基づき、重度傷病者に対して行う静脈路確保のための輸液。
⑭ 血圧測定	血圧計を使用しての血圧測定。
⑮ 薬剤投与	救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンの投与。
⑯ 聴診器	聴診器を使用した心音、呼吸音等の聴取。
⑰ 血中酸素飽和度の測定	血中酸素飽和度測定器を使用した血中酸素飽和度の測定。
⑱ 心電図	心電計を使用した心電図の測定。
⑲ 気管挿管	気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置。
⑳ 血糖測定	自己検査用グルコース測定器による血糖値の測定。
㉑ ブドウ糖投与	低血糖発作傷病者へのブドウ糖溶液の投与。
㉒ エピペン投与	救急救命士がアナフィラキシーショックの状態にある重度傷病者に対し実施した、自己注射が可能なアドレナリン製剤によるアドレナリンの投与。
㉓ その他	①から⑱以外の応急処置

事故種別・転送^(※)回数別搬送人員の状況

(令和3年中)

事故種別 転送回数	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
転送なし	13,842	1,785	3,390	3,694	22,711
1回	43	5	6	7	61
2回	0	0	0	0	0
3回以上	0	0	0	0	0
合計	13,885	1,790	3,396	3,701	22,772

※転送とは、一つの医療機関（接骨院等を含む）で収容されなかったため、他の医療機関へ搬送することをいう。

事故種別転送理由の状況

(令和3年中)

転送理由 区分 事故種別		ベッド 満床	専門外	医師 不在	手術中	処置 困難	理由 不明	その他	合計
救急 医療 機関	急病	1	3	0	0	26	0	2	32
	交通事故	0	0	0	0	4	0	0	4
	一般負傷	0	1	0	0	2	0	1	4
	その他	0	0	0	0	6	0	1	7
	計	1	4	0	0	38	0	4	47
その 他の 医療 機関	急病	0	0	0	0	9	1	1	11
	交通事故	0	0	0	0	1	0	0	1
	一般負傷	0	0	0	0	2	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	12	1	1	14
合 計	急病	1	3	0	0	35	1	3	43
	交通事故	0	0	0	0	5	0	0	5
	一般負傷	0	1	0	0	4	0	1	6
	その他	0	0	0	0	6	0	1	7
	計	1	4	0	0	50	1	5	61

応急手当普及啓発活動の状況

平成6年から令和3年までの28年間で、33万9,319人の市民が応急手当の講習を受講しました。

(各年中)

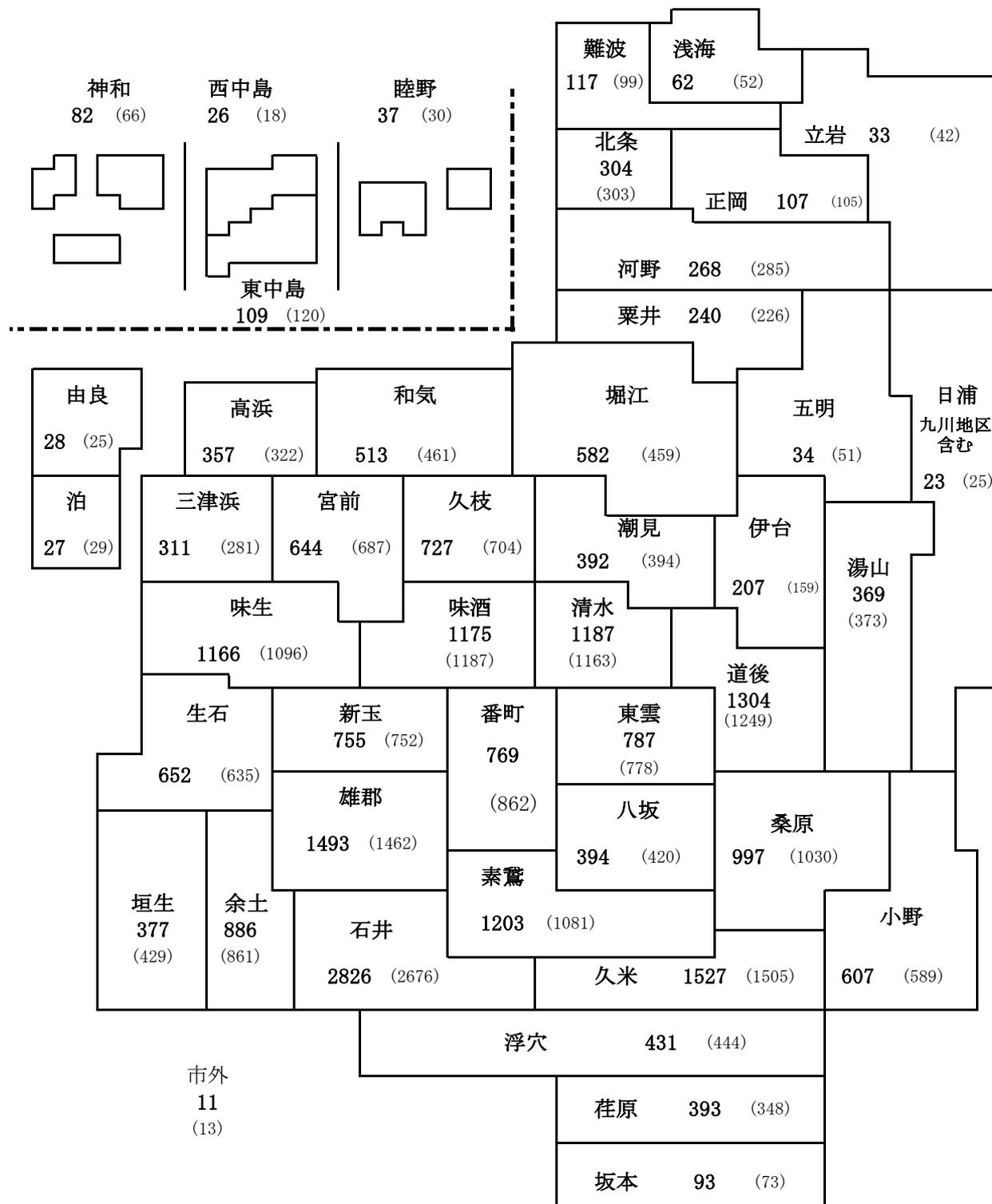
区分 年	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合 計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成 6年	23	944			57	2,850	80	3,794
平成 7年	33	1,216			65	3,100	98	4,316
平成 8年	42	1,607	2	112	77	4,395	121	6,114
平成 9年	48	1,760	4	152	79	4,456	131	6,368
平成10年	67	2,474	5	153	88	4,669	160	7,296
平成11年	118	3,933	6	195	113	7,185	237	11,313
平成12年	133	4,014	8	228	110	6,425	251	10,667
平成13年	139	4,344	13	318	65	3,311	217	7,973
平成14年	152	4,914	33	838	84	3,510	269	9,262
平成15年	195	5,537	38	965	87	4,586	320	11,088
平成16年	219	5,286	41	1,376	59	2,698	319	9,360
平成17年	253	5,943	26	858	126	5,158	405	11,959
平成18年	344	8,631	41	1,124	132	5,781	517	15,536
平成19年	390	9,502	47	1,154	175	7,716	612	18,372
平成20年	389	9,600	43	1,175	216	9,721	648	20,496
平成21年	345	8,342	21	538	251	11,249	617	20,129
平成22年	335	7,910	19	489	217	11,474	571	19,873
平成23年	324	7,211	11	317	236	13,028	571	20,556
平成24年	356	8,389	11	236	201	9,848	568	18,473
平成25年	325	7,550	11	302	146	6,698	482	14,550
平成26年	355	8,014	14	381	158	6,687	527	15,082
平成27年	324	8,146	11	390	147	7,507	482	16,043
平成28年	327	7,905	8	256	138	6,116	473	14,277
平成29年	307	7,640	11	316	118	5,330	436	13,286
平成30年	314	7,666	11	279	121	4,694	446	12,639
令和元年	312	7,024	17	305	169	8,060	498	15,389
令和2年	99	1,806	1	7	20	721	120	2,534
令和3年	143	2,121	5	107	15	346	163	2,574
合 計	6,411	159,429	458	12,571	3,470	167,319	10,339	339,319

地区別救急発生状況

出動件数24,632件 (前年23,969件)

() 内は前年の発生状況

(令和3年中)



救急出動件数及び搬送人員の推移

(各年中)

年	救急出動			救急搬送			(A)のうち急病による出動件数(B)	(A)に対する(B)の構成比
	件数(A)	対前年増減数	対前年増減率	人員	対前年増減数	対前年増減率		
昭和38	309			246			73	23.6
39	638	329	106.5	489	243	98.8	161	25.2
40	981	343	53.8	758	269	55.0	298	30.4
41	1,347	366	37.3	1,093	335	44.2	441	32.7
42	1,588	241	17.9	1,404	311	28.5	485	30.5
43	2,229	641	40.4	1,883	479	34.1	783	35.1
44	2,619	390	17.5	2,236	353	18.7	892	34.1
45	3,157	538	20.5	2,787	551	24.6	1,118	35.4
46	3,399	242	7.7	3,032	245	8.8	1,166	34.3
47	3,963	564	16.6	3,683	651	21.5	1,462	36.9
48	4,080	117	3.0	3,839	156	4.2	1,408	34.5
49	4,336	256	6.3	4,064	225	5.9	1,639	37.8
50	4,809	473	10.9	4,580	516	12.7	2,066	43.0
51	5,507	698	14.5	5,221	641	14.0	2,380	43.2
52	5,931	424	7.7	5,628	407	7.8	2,581	43.5
53	6,219	288	4.9	5,950	322	5.7	2,706	43.5
54	6,678	459	7.4	6,383	433	7.3	2,854	42.7
55	7,540	862	12.9	7,318	935	14.6	3,289	43.6
56	7,751	211	2.8	7,613	295	4.0	3,404	43.9
57	8,283	532	6.9	8,165	552	7.3	3,572	43.1
58	8,851	568	6.9	8,627	462	5.7	3,652	41.3
59	8,999	148	1.7	8,772	145	1.7	3,667	40.7
60	9,037	38	0.4	8,683	-89	-1.0	3,678	40.7
61	9,281	244	2.7	8,921	238	2.7	3,687	39.7
62	9,511	230	2.5	9,185	264	3.0	3,757	39.5
63	9,942	431	4.5	9,536	351	3.8	4,107	41.3
平成元	10,532	590	5.9	10,099	563	5.9	4,359	41.4
2	11,028	496	4.7	10,541	442	4.4	4,686	42.5
3	11,542	514	4.7	11,106	565	5.4	5,055	43.8
4	11,686	144	1.2	11,157	51	0.5	5,340	45.7
5	11,473	-213	-1.8	11,015	-142	-1.3	5,260	45.8
6	11,466	-7	-0.1	10,750	-265	-2.4	5,378	46.9
7	12,366	900	7.8	11,500	750	7.0	5,995	48.5
8	12,482	116	0.9	11,553	53	0.5	6,061	48.6
9	12,888	406	3.3	11,988	435	3.8	6,403	49.7
10	13,835	947	7.3	12,838	850	7.1	6,943	50.2
11	14,259	424	3.1	13,223	385	3.0	7,279	51.0
12	15,198	939	6.6	14,063	840	6.4	7,959	52.4
13	16,104	906	6.0	15,114	1051	7.5	8,596	53.4
14	16,227	123	0.8	15,143	29	0.2	8,713	53.7
15	17,562	1335	8.2	16,278	1135	7.5	9,987	56.9
16	18,771	1209	6.9	17,532	1254	7.7	10,547	56.2
17	20,143	1372	7.3	18,964	1432	8.2	11,646	57.8
18	20,415	272	1.4	19,267	303	1.6	11,967	58.6
19	20,275	-140	-0.7	19,187	-80	-0.4	11,857	58.5
20	19,908	-367	-1.8	18,652	-535	-2.8	11,741	59.0
21	20,315	407	2.0	18,921	269	1.4	11,889	58.5
22	21,733	1418	7.0	20,189	1268	6.7	12,915	59.4
23	22,221	488	2.2	20,522	333	1.6	13,392	60.3
24	23,101	880	4.0	21,429	907	4.4	14,045	60.8
25	24,092	991	4.3	22,396	967	4.5	14,692	61.0
26	24,408	316	1.3	22,682	286	1.3	14,964	61.3
27	24,146	-262	-1.1	22,536	-146	-0.6	14,868	61.6
28	25,098	952	3.9	23,248	712	3.2	15,615	62.2
29	25,652	554	2.2	23,872	624	2.7	15,721	61.3
30	26,730	1078	4.2	24,816	944	4.0	16,438	61.5
令和元	26,781	51	0.2	24,805	-11	0.0	16,583	61.9
2	23,969	-2812	-10.5	22,080	-2725	-11.0	14,471	60.4
3	24,632	663	2.8	22,772	692	3.1	14,937	60.6

松山市の救急医療

(1) 市内の救急及び急患医療施設

(令和4年4月1日現在)

区分	診療科目	診療日	診療時間	診療場所	運営主体	電話番号
救急	第二次救急	全日	8:30～翌8:30	救急医療機関 (病院群輪番制病院)	14病院	089-925-6633 (テレホンカブ)
休日	内科 小児科	日曜・祝日 及び 1/1～1/3	(診療時間) 内科 10:00～13:00 14:00～17:00 小児科 11:00～14:00 15:00～18:00	藤原二丁目 松山市医師会 休日診療所	松山市医師会	089-915-3111
夜間	内科 小児科	内科 月～土曜 (1/1を除く) 小児科 全日	内科 21:00～24:00 小児科 21:00～翌8:00	萱町六丁目 急患医療センター	松山市	089-922-1199
歯科	歯科	日曜・祝日 年末年始 (12/30～1/3)	9:00～12:00	柳井町二丁目 愛媛県口腔 保健センター	愛媛県 歯科医師会	089-932-5047
救命救急	第三次救急	全日	24時間体制 (S56.4.14開始)	春日町 県立中央病院 構内 高度救命 救急センター	愛媛県	089-947-1111
周産期救急	第三次救急	全日	24時間体制 (H2.12.15開始)	春日町 県立中央病院 構内 周産期センター	愛媛県	089-947-1111

(2) 救急医療体制

(令和4年4月1日現在)

① 病院群輪番制病院による二次救急医療（松山医療圏3市3町）

病 院 数 救急告示医療機関14病院
診 療 時 間 等 8:30～翌日8:30
目 的 事故やケガなど外科的な処置及び入院・手術を必要とする
救急患者の受入れ機関

番号	医療機関名	所在地	電話番号
1	奥島病院	道後町二丁目2-1	089-925-2500
2	野本記念病院	三番町五丁目12-1	089-943-0151
3	松山城東病院	松末二丁目19-36	089-943-7717
4	松山赤十字病院	文京町1	089-924-1111
5	松山市民病院	大手町二丁目6-5	089-943-1151
6	済生会松山病院	山西町880-2	089-951-6111
7	南松山病院	朝生田町一丁目3-10	089-941-8255
8	平成脳神経外科病院	北井門二丁目7-28	089-905-0011
9	梶浦病院	三番町四丁目4-5	089-943-2208
10	松山笠置記念心臓血管病院	末広町18-2	089-941-2288
11	愛媛生協病院	来住町1091-1	089-976-7001
12	渡辺病院	空港通七丁目13-3	089-973-0111
13	愛媛医療センター	東温市横河原366	089-964-2411
14	松山まどんな病院	喜与町一丁目7-1	089-936-2461

② 休日診療所（初期救急）

設立運営主体 松山市医師会（昭和43年12月開設）
開設場所 藤原二丁目4-70 松山市医師会休日診療所
（旧松山成人病センター）
診療科目 内科、小児科
診療時間等 日曜日、祝日及び1月1・2・3日
受付時間 内科 10:00～13:00 小児科 11:00～14:00
14:00～17:00 15:00～18:00

③ 急患医療センター

設立運営主体 松山市（昭和49年7月15日開設）
開設場所 萱町六丁目30-1 松山市急患医療センター
診療科目 内科、小児科
診療時間等 内科 日曜日及び1月1日を除く毎日 21:00～24:00
小児科 1月1日を除く毎日 21:00～翌8:00

④ 口腔保健センター

設立運営主体 愛媛県歯科医師会（昭和49年12月開設）
開設場所 柳井町二丁目 愛媛県口腔保健センター
診療時間等 日曜・祝日・年末年始（12月30日～1月3日）9:00～12:00

⑤ 在宅当番医制事業

目的 休日の急病患者の医療を確保するとともに、
救急医療情報提供並びに救急医療知識の普及啓発を行う。

⑥ 救急医療対策協議会

目的 救急医療に関して総合調査研究し、市民の医療を確保する。
協議会 医師会、保健所、松山市、消防局、警察署、救急指定医療機関

⑦ 愛媛県立中央病院 高度救命救急センター（第三次救急）

設立運営主体 愛媛県（昭和56年4月14日開始）
開設場所 春日町83
診療科目 脳卒中、心臓病など重篤患者に高度な治療を行う。
診療時間等 年中無休24時間体制

⑧ 愛媛県立中央病院 総合周産期母子医療センター（第三次救急）

設立運営主体 愛媛県（平成2年12月15日開始）
開設場所 春日町83
診療科目 周産期重篤救急患者に高度な治療を行う。
診療時間等 年中無休24時間体制

診療科目別搬送人員の状況

(令和3年中)

月別 科目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	895	801	825	790	850	920	1,063	1,063	950	956	948	945	11,006
循環器科	118	96	94	62	83	95	92	79	75	90	114	104	1,102
呼吸器科	55	25	41	39	37	30	30	30	31	39	29	31	417
泌尿器科	15	12	22	9	11	16	19	8	7	8	14	11	152
小児科	47	41	64	40	62	79	94	69	46	55	63	49	709
外科	139	120	165	145	159	168	160	141	159	194	186	195	1,931
整形外科	305	266	284	260	258	263	313	276	263	284	337	354	3,463
脳外科	281	264	275	272	256	246	233	239	266	290	305	321	3,248
口腔外科	0	1	1	1	0	0	0	2	2	1	1	1	10
産婦人科	35	22	25	29	21	35	37	29	24	43	30	34	364
眼科	1	3	1	1	0	1	1	2	3	2	1	1	17
耳鼻咽喉科	4	3	3	2	2	6	4	4	5	2	5	1	41
歯科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
皮膚科	4	2	2	0	3	2	1	0	1	3	1	1	20
精神科	4	3	6	3	2	2	2	4	2	4	3	4	39
心療内科	1	1	0	1	1	0	0	3	0	0	0	1	8
麻酔科	3	4	2	4	2	2	5	3	1	3	4	4	37
特殊診察	2	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2	2	10
その他	23	10	16	13	12	9	18	26	12	16	26	15	196
合計	1,932	1,675	1,826	1,671	1,761	1,874	2,072	1,980	1,848	1,990	2,069	2,074	22,772